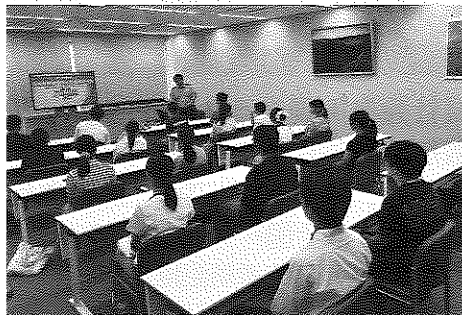


「安全で安心な高知県の実現」に向けた取組の紹介！

ナ ツ ボ ラ 今年も高校生等によるボランティア活動が活発に行われました！

特殊詐欺等の被害状況や対策を学んでいます



(下) 啓発活動前に参加者が集合しました



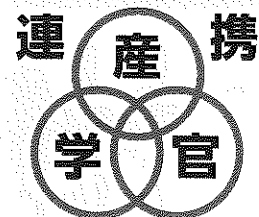
(右) 啓発活動中の様子

今年も高知県ボランティア・NPOセンター主催で、7月20日から8月31日までの間、県内の中高生等を対象に、子ども、高齢者、イベントなどに関するボランティア活動が体験できる取組「ナツボラ」が実施されました。

7月30日の「特殊詐欺被害ゼロの日」に、19名の高校生が、警察本部で特殊詐欺被害の現状を学んだり、高知市中心街で警察官や特殊詐欺被害撲滅を目指す団体や事業者※、県職員と一緒に、通行人に啓発物を配りながら被害防止を呼びかけたりしました。参加した高校生は、「特殊詐欺被害が多いことは知っていて、被害防止のためにできることをしたくて参加しました。今日学んだことを多くの人に伝えて、一件でも多く被害を防ぎたいです。」などとたくましく話してくれました。

※参加団体→公益社団法人高知県防犯協会、高知中央地区地域安全協会、NTT西日本株式会社高知支店、富国生命保険相互会社高知支社、株式会社四国銀行

この活動のほが、「ナツボラ」を通じて多くのボランティア活動が行われ、「誰かのために、役に立ちたい」という素晴らしい志が多数実践されました！こうした活動が広がることは「元気で、安全安心な高知県」の実現につながります！



エコドライブ・安全運転コンテスト

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、高知工科大学、高知県警察による「エコドライブ・安全運転コンテスト」が、7月1日から31日まで開催されました。2回目の本県開催となる今回は、個人や企業・団体の268チーム計1,062人が参加し、各車に設置した機器で期間中の運転状況を点数化（100点から減点方式）して安全運転を競いました。

機器で計測されたデータは集約・分析され、【各路線の走行量や、急減速の発生率が高かった危険箇所を明示した「地域の交通安全マップ」の作成】や、【走行データと性格診断データを使った安全運転と性格との相関性の研究】など、交通安全施策に役立てられます。産学官が連携するこのような取組を継続・拡大し、「安全で安心な高知県の実現」につなげていきましょう！

■くらしネットkochi編集・発行者
高知県文化生活部 県民生活課

■安全安心まちづくりニュース編集・発行者
高知県安全安心まちづくり推進会議

■問い合わせ先
高知県文化生活部 県民生活課 〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号
TEL 088-823-9653(くらしネットkochi) 088-823-9319(安全安心まちづくり)
FAX 088-823-9879 E-mail:141601@ken.pref.kochi.lg.jp

■「高知県犯罪のない
安全安心まちづくり」は
この言葉で検索
又は
右記二次元コードから



くらしネット kochi

令和7(2025)年度
第2号

定期購入に関するトラブルに ご注意ください

事例①

定期購入「返品」だけでは解約になりません！

- SNSの広告を見てお試し商品の美容液を購入。
- その後同じ商品が届いたが、注文した覚えがないのでその旨と解約希望の書面を同封して返品した。
- その後も請求書などは届いていたが無視していたら、法律事務所から請求について通知が届いた。

事例②

購入確定の前には解約方法もよく確認を！！

- SNSの動画を見て健康食品を注文したら定期購入だった。
- 解約しようと電話をすると、SNSやメールで問い合わせるようというガイダンスが流れるのみだった。
- SNSで解約の申し出をしたが、何度も同じことの繰り返しになり解約できない。

トラブルに遭わないために

- ◆1回だけのつもりで商品を注文したら実は定期購入だったというケースがあります。商品を返送したり、受け取り拒否したりしても、それだけでは解約にはなりません。
- ◆購入の際は、解約条件や方法、事業者の連絡先、定期購入かどうかなどをよく確認しましょう。またこれらの記載はスクリーンショットで必ず保存しましょう！

クイズで学ぼう！消費生活のキホン（問い）



高知県立消費生活センター
キャラクター
くまっちゃん

Q. ガソリンの価格ってどうやって決まっているの？

- ①原油代
- ②税金
- ③精製・物流コスト
- ④販売店の利益



答えは次のページへ



答えは

全部！

なかでも、地域間の価格差は、③精製・物流コストと④販売店の利益によって生じるんだよ。

高知県の場合、以下の2点が価格決定に影響していると考えられています。

- ①岡山県や関西の製油所から海路で輸送することによる物流コストの高さ
- ②全国最下位水準と言われるガソリンスタンド1店舗当たりの販売量の少なさ（※）

※参考 1店舗当たり販売量813キロリットル／年（資源エネルギー庁「揮発油販売業者数及び給油所数の推移」（令和6年7月29日）及び石油連盟「都道府県別販売実績」（2023年度確報）より算出）

消費生活センター便り



高齢者の消費者トラブル増加中！



高齢者の消費者相談が増えており、中でも70歳以上の方の相談が増加しています。

悪質業者は言葉巧みに不安をあおり、親切にして信用させ、高齢者の年金や貯蓄などの大切な財産を狙います。

被害を防ぐには、周囲の人が、日ごろから高齢者の様子に気をつけるなどの見守りが大切です。

【相談事例】

「近くで屋根工事をしていたら、瓦が傷んでいるように見えたので点検したい。」と業者が訪問してきた。点検した後、「かなりひどい。このままでは雨漏りするかもしれない。」と言われた。迷っていると、「たまたま今日この地域に来ているので今でないと契約できない」とせかされ、約40万円の契約をしてしまった。



高齢者の消費者トラブルを防ぐため、地域での見守りを推進しています！
消費生活出前講座もご活用ください！
詳しくはHPをご覧ください。



見守り活動に参加してみませんか？
「高知県くらしのサポーター」
（ボランティア）募集！



地域や学校、職場へお伺いし、
消費生活に関する
「出前講座」行います！



●不安に思った場合やトラブルに遭った場合は、すぐに相談しましょう。

消費者ホットライン…局番なしの188（いやや）番

お住まいの市町村等の消費生活相談窓口につながります。

消費生活に関するご相談は

高知県立消費生活センター ☎088-824-0999

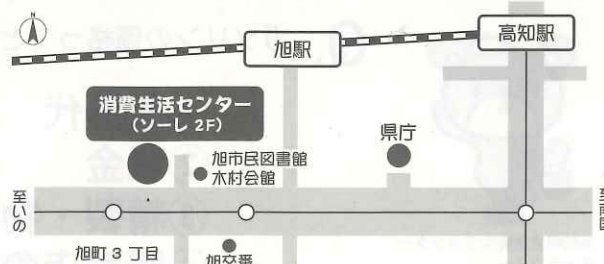
住所 〒780-0935 高知市旭町3丁目115番地「ソーレ」2階

受付時間 日曜日～金曜日 9:00～16:45
※日曜日も相談を受け付けています

休所日 土曜日・祝日・12/29～1/3

ホームページ <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/141602/>

県立消費生活センターから情報発信中！
Instagramもチェック



「安全で安心なまちづくり」に
関する広報紙

安全安心

まちづくり ニュース

みんなで始めよう！
犯罪のない
安全安心まちづくり

令和7(2025)年度
第2号



全国地域安全運動に参加してみませんか！

全国地域安全運動とは…



安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、毎年特定の期間中に、地域安全活動に取り組む住民や事業者、防犯ボランティア団体、自治体、警察などが、取組を更に強化するとともに、相互の連携を一層深めようとする全国一斉の運動です。

（主催）公益財団法人全国防犯協会連合会、都道府県防犯協会、都道府県暴力追放運動推進センター、警察庁及び都道府県警察

今年の運動は…

例年、関係団体や行政機関等による様々な地域安全活動が県内各地で行われます。

多くの方に運動に参加いただき、地域に安心感を与え、地域を盛り上げていきましょう！

1 運動期間

令和7年10月11日(土)から10月20日(月)までの10日間

2 運動の重点テーマ

(1) 全国の重点テーマ

- ア 特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止
- イ 子供と女性の犯罪被害防止

(2) 高知県の重点テーマ

- ア 自転車の盗難被害防止
- イ 万引きの被害防止

安全安心のためにできることを、みんなでコツコツ実行しましょう！

日の暮れが早くなると、屋外で「子供が一人にいるとき、子供だけにいるとき（犯人から見て子供の周りに大人がいない状況）」に事故や事件の被害に遭う危険性が高くなります。



そこで「ながら見守り」を推奨します。例えば、お出かけや帰宅、洗濯物の取込などの際に、見える範囲で子供の安全を地域の中で見守りましょう。「〇〇しながら見守りをする家（点）」が増えると、「複数の見守りの目線」がつながります。

そうして、「子供を見守る大人の目（線）」ができあがり、常時、子供のすぐ近くで見守らなくても、路地等でも、見守り効果が期待できます。

また、自己防衛策として「防犯機器をすぐに使える状態で持つ」ことを推奨します。例えば「防犯ブザーやライト」の活用は、音や光で犯罪者や不審者を寄せつけない効果が見込まれ、防犯に有効です。

そして、自分の居場所や異常な状態を知らせたいときにも効果的で、例えば、暗がりや人通りがない場所で倒れたときに、音や光で周囲に知らせることで早期発見・救命等につながる可能性があります。

重要なことは「機器をすぐに使える状態で持つ」ことです。照明付き防犯ブザー（ブザー音とライト点滅が同時作動する）などの機器をカバンの袖ポケットやベルトに備え付けて、有効活用しましょう！

